



第2回女性委員会報告

小樽支部 本間 恵美

7月19日(土)に女性委員会を開催しました。出席者は9名。協議事項と報告事項について。

- 全道大会 A 分科会は、「木の持つチカラ」をキーワードにパネリスト3名を迎え、北海道材の活用についてトークセッションを行う。

- 全道大会における活動紹介パネルの作成について。

- 女性建築士の集いは、全道大会翌日に磯田憲一氏を迎え「命ことほぐ」と題して、君の椅子プロジェクトの講演を開催。

- 建築士による家庭科住教育出張講座は、登別青嶺高等学校で、5/28・2学級、6/2・2学級を開催。石狩翔陽高等学校で6/24・1学級、6/30・1学級を開催。

- 連合会女性委員会は、10/24の全国大会で、青年・まちづくりとの3委員会合同セッションを開催。

- ブロック活動報告

道央 A：札幌支部 H U G 講習会に協力 (4/2・札幌・会員21名・会員外2名)。パーソナルカラー診断講習 (4/6・小樽・会員6名)。

道北：H U G 講習会 (5/24・旭川・会員7名)。

道東 A：折紙建築展に参加 (4/1～30・釧路)。イタリア料理講座 & イタリア建築紀行 (7/12・釧路・会員5名)。

委員会後は、恒例の納涼会を開き、暑さを吹き飛ばしました。



宮城県建築士会より、震災時の「こころはひとつ」作戦のお礼として、かわいいエコたわし「編んだらもんだら」と青年部・女性部会報が届きました。

まちなみ発見 旭川たてものウォッチング

旭川支部 高見 友子

当支部に北方建築総合研究所公開デーの一環で行うイベントへの協力依頼があり小池さんと企画から参加しました。大人向け企画は今回が初めてで、生涯学習の場を提供し、建築に親しんでもらうことを目的に専門家の解説を聞きながらまちを巡ってみようというものです。講師は、旭川の歴史的建築物の保存を考える会会長の川島洋一先生。旭川支部女性委員会では、「古建築を巡る」の講師を5年間お願いしていたこともあり、その時に巡った場所などの中から、一般の方でも楽しく見てもらえるところを先生にピックアップしていただき、あのエピソードやこの話をしてほしいなどお願いしながらコースを作ってくださいました。いつも車で通っていて見落としがちなことを歩いて発見してもらおうと徒歩移動区間も盛り込まれました。

当日(8月2日)は快晴で気温も高めで歩くのもちょっと大変ながらも13名の参加があり、川島先生の楽しい解説で時には笑い声がありながらのまちめぐりとなりました。

旭川グランドホテルでは、低層部がなぜ赤レンガと屋根をかけたデザインになったのか?なぜ、最上階のバーは、あの名前なのか?など秘密が明かされ、そうだったんだ…と感心したりびっくりしたり。(秘密を知りたい方は、旭川支部女性委員会までご一報を!)



旭川市庁舎では、「設計者の佐藤武夫氏の中学時代は旭川育ち。旭川にレンガ造の建築が多いことを知っていてレンガを使ったのでは。住んだことが無い設計者だと違っただろう」市庁舎設計の評判が良く、その後佐藤氏の仕事が増えたことなどが解説され、見慣れている市庁舎にもいろいろ発見がありました。



その後数箇所巡り帰路へ。今回、私達建築士にはあたりまえでも、一般の方にはそうではないと体感でき良かったです。他団体との協力や連携イベントも建築に興味を持ってもらえ建築士を身近に感じてもらえる機会なので今後も大切にしていけたらと思います。

川島先生から頼まれていた「しゃべりすぎたら止めてくれ!」はなかなか遂行できませんでした…今後の課題ですね(笑)